組織横断での重要テーマ

当社グループでは、2025中計における中長期的かつ持続的成長に向けた「種まき」の戦略の1つとして、「組織横断での重要テーマ」を設定しています。「水素」「EV」「物流」「脱炭素ソリューション」の4分野を取り上げており、当社グループのリソースを結集させ推進しています。2023年度の活動を通して、組織間の連携が一層活性化し、新たな取り組みが生まれつつあります。これらのテーマに関連する社会的課題の解決と社会価値の創出を図り、持続可能で豊かな未来の実現に貢献していきます。

水素

グローバルな事業展開と顧客基盤を生かした水素ビジネス戦略の構築

当社グループの取り組み

当社グループは、国内で太陽光、陸上風力を中心に1.1GWの発電事業を展開する国内屈指の再生可能エネルギー事業者です。これらの事業経験を生かし、宮古島でのグリーン水素実証事業の検討や、水素分野における多様な取り組みを開始しています。2030年以降の本格的な水素社会の到来に備え、今後、水素分野に対する一層の取り組みを推進し、国内有数のグリーン水素事業者となることをめざします。

部門横断シナジー

水素黎明期の日本で水素事業を立ち上げるためには、水素の供給体制の構築に加え、水素に対する需要の掘り起こしが重要となります。再生可能エネルギー事業を担う環境エネルギー事業本部を中心に供給側の検討を進める一方、カスタマーソリューションユニット、モビリティ事業本部との連携により、ボイラーをはじめとする熱源設備やモビリティなど、水素を使うアセットの観点からも、事業パートナーとの協議を重ね、顧客基盤を活用したサプライチェーン構築による事業創造を図ります。

宮古島東急ホテル＆リゾーツ
（宮古島でのグリーン水素実証事業の検討）

EV

再生可能エネルギー供給、充電インフラなどを含む、EVの導入・運用に必要な機能を広範に提供できる統合型サービスの構築・事業化

当社グループの取り組み

脱炭素社会の実現に向けて、企業や自治体が、社有車をEV（電気自動車）に切り替える動きが増えてきています。当社グループは、EVのリースにとどまらず、EVの運用に不可欠となる充電設備の導入支援サポートのほか、EVの動力源である電気の再生可能エネルギー化、エネルギーマネジメントサービスなどにも取り組んでいます。当社グループの総合力を生かし、EVの導入から運用までを広範にカバーする統合型サービスの提供を通じて、EVを起点としたカーボンニュートラルな社会の実現に貢献します。

部門横断シナジー

当社グループは、社有車EV化による実証実験を通じて、EV統合型サービスの機能開発を進めてきました。2023年9月には、当社グループの三菱オートリースや三菱HCキャピタルエナジーなどとともに、非化石価値を有する電力供給を含むEV統合型サービスの第一弾スキームをリリースしました。引き続き、国内外において社内連携や社外のパートナー企業との協業により、お客さまが抱えるさまざまな課題やニーズに対応可能なサービスや機能を拡充し、お客さまへの提案をより一層強化していきます。

物流

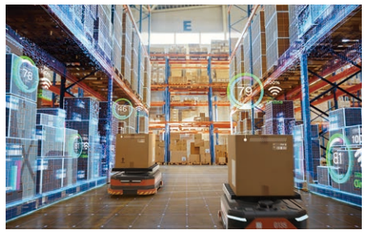
物流サプライチェーン上の社会的課題・顧客ニーズに対し、有力パートナーと協働した「一気通貫型物流ソリューション」を構築・提供

当社グループの取り組み

物流業界は働き方改革関連法施行による「2024年問題」を受け、今後もさまざまな社会的課題・顧客ニーズに対応していくことが求められます。業界の商慣習や技術革新といった各種構造変化のなか、当社グループは物流サプライチェーンにおける主要課題である「輸送のシステム化」「物流DX・標準化」「物流ネットワークの構築」に対して、関連するアセットの保有やデータ利活用を通して、パートナー企業とともに付加価値の高いソリューションを構築・提供していきます。

部門横断シナジー

カスタマーソリューションユニットでは、大手から中堅の物流事業者や荷主企業であるお客さまと、リースをはじめ各種ファイナンス取引を中心に強固な営業基盤を構築しています。一方で、物流課題は、老朽化した物流センターを最新の施設・設備に置き換えるスクラップアンドビルド、倉庫運営や輸配送におけるCO_2削減、将来のEV化など多岐にわたります。そのため、不動産事業本部、環境エネルギー事業本部、モビリティ事業本部などとの協業や、三菱グループ・日立グループとの連携を一段と強化し取り組んでいきます。



物流サプライチェーンにおける課題対応

脱炭素ソリューション

脱炭素社会の実現に貢献するワンストップサービス（CO_2可視化・省エネ・再生可能エネルギー・クレジット創出）の構築・提供

当社グループの取り組み

脱炭素社会の実現に向け、お客さまの脱炭素化への施策の検討段階からサポートし、施策の実行段階では自社ならびにパートナー企業が持つさまざまな機能・ソリューションを統合して提供し、お客さまの脱炭素化への取り組みをワンストップでサポートできる企業となることをめざします。また、リース・割賦取引を通じたグリーンファイナンスとして開発したGX Assessment Lease※1の提供により、お客さまの脱炭素化に向けた各種投資に対しリース・ファイナンスを通じて強力に支援していきます。

※1 GX Assessment Lease：お客さまの低炭素設備の導入を支援する当社グループ独自のリース割賦プログラム。リースおよび割賦取引に対してグリーンローン原則の核となる4つの要素（「調達資金の使途」「プロジェクトの評価と選定のプロセス」「調達資金の管理」「レポーティング」）を取り入れた商品で、お客さまは、本商品の利用により、導入した設備が一定の環境改善効果を有していることを明示することが可能となる。なお、その商品設計および運用体制について格付投資情報センター（R&I）による第三者評価を取得している。

部門横断シナジー

風力・太陽光・蓄電池などの再生可能エネルギーおよびその周辺事業を展開する各事業本部の情報と、カスタマーソリューションユニットに寄せられるお客さまの脱炭素関連ニーズを機動的にマッチングしていくことで、脱炭素社会の実現に貢献していきます。また、これら各事業本部が得たお客さまの脱炭素関連情報を蓄積し、DX推進部門との連携を通じ、データ利活用技術を駆使することで新たな環境関連サービスの開発を行っていきます。